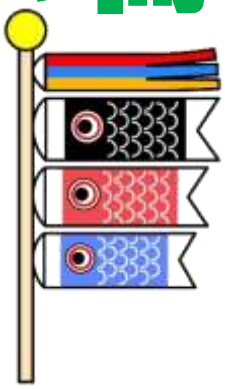
5月5日は

きゅうしょくゆうびん
松本市学校給食センター

# 端午の節句



端午の節句はもともと中国の厄除けの行事でした。日本に伝わり江戸時代になると男の子の成長を祝う行事になりました。

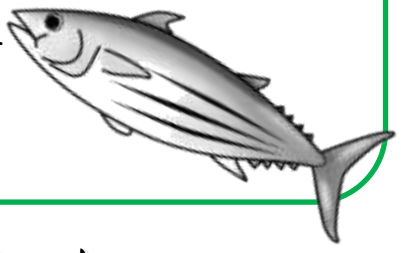
端午の節句に食べられている食べ物と、その意味について紹介します。

## かしわもち

かしわの葉は新芽が育つまでは古い葉が落ちないことから「子孫繁栄」を願って食べられます。

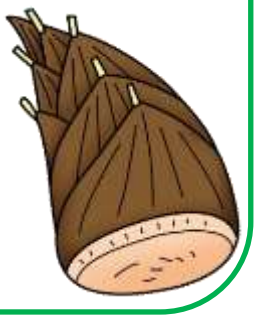
## かつお

かつおは「勝男」という字をあて、強い男の子になってほしいという願いがこめられています。



## たけのこ

たけのこは成長が早くまっすぐのびます。たけのこのようにすくすくと育ってほしいという願いがこめられています。



## ちまき

大昔の中国の詩人で政治家の「屈原」が亡くなったのが5月5日でした。彼の死を悲しむ人々が米を葉に包んで川に投げて供えたのが始まりです。